

## 第 10 回 東京農工大学 ごみダイエット NOKO (第 29 号)

ごみダイエット NOKO(以後、ごみダイ)は東京農工大学の環境サークルです。創設は 1993 年頃で、現在 30 名ほどで活動しています。

ごみダイの活動の二本柱となっているのは、秋の学園祭と春のリサイクル市です。

毎年 11 月に行われる農工大農学部での学園祭では、様々な環境対策を実施しています。具体的には、模擬店から出るごみの収集所であるごみステーションの運営や、環境負荷の低いトレーの利用促進、環境に配慮したメニュー”エコレシピ”の認定などです。

ごみステーションでは 15 分別を実施しています。ごみの回収やリサイクルの円滑化がこの 15 分別の主たる理由ですが、来場者の環境問題に対する意識を向上させることを目指し、環境教育もテーマに実施しています。

環境負荷の低いトレーとして、現在では非木材紙トレーを使用しています。このトレーは製造および焼却過程での環境負荷がより低いものなのですが、土壌還元させることでさらに可燃ごみを大幅に軽減します。豊かな農場をキャンパスに持つ農工大の強みとして、この土壌還元を専門的な知識を持つ教官の指導の下、間近で実施できることが挙げられます。

3 月下旬に行われるリサイクル市は、卒業生にとって不要となる家具・家電類を新生に提供する場です。毎年、府中市近郊から冷蔵庫や洗濯機など計 500 点ほどの家具・家電をリヤカーなどを用いてごみダイメンバーの手によって回収します。こうして回収した家具や家電は、当日来場した新生や地域の方によって再び利用されます。

家電については新しい商品の方が環境に与える影響は小さいのではないかという意見も世の中にはありますが、来場した多くの人々、会場に並べられた品々、回収・配送先での好意的な反応を目の当たりにすると、「ものを大事に使うことはよいことだ」という当たり前のことが身にしみます。

そのほか、府中市環境フェスタや NPO まつりなど地域のイベントにも積極的に参加して、地域と交流を持っています。学生だけでなく、地域住民とともに府中という自然の多く残る美しい街並みを守ることに貢献できればうれしい限りです。

ごみダイの活動はおおまかには以上です。一見大変そうなことに思われるかもしれませんが、時には真剣に語り合いながら、時には楽しく笑いながら、とても良い雰囲気です。農工大、そして地域の身近なところから、これからも地に足のついた活動をしていきたいと思っています。